

# 伊江村伊江「社団法人伊江島観光協会民泊部会」

交流  
部門

## ヒューマンツーリズムで元気なふるさとづくり (平成19年度認定)



本部半島の西北に位置する伊江村は、島の中央部に城山がそびえ立つ特徴的な外観を有する一島一村の島である。農業では葉たばこ、輪ギク、畜産が盛んに行われており、また、サトウキビを原料としたバイオエタノールの実証試験と高バイオマスサトウキビの栽培試験が行われるなど、農業と産業が連携した取り組みが行われている。

新たな産業の可能性を探るために、伊江村観光協会が平成15年度に4校・358名の修学旅行をモデル的に受け入れたことがきっかけとなり、本格的な民泊事業に取り組むようになった。民泊の取り組みと同時に、平成15年度から村内の関係機関長で組織した「民泊事業推進協議会」を設立し、島一丸となって民泊を推進している。その結果、修学旅行の数は順調に増加し、平成18年には66校・1,2000名を受け入れており、地域全体に及ぼす経済効果も高くなっている。修学旅行後も、受け入れた家族との交流やリピーターとして家族で島を訪れる子どもも多く、都市との交流が続けられている。

また、体験の一環として、子どもたちと民泊部会員が一緒になって海岸や史跡の清掃活動に取り組んでおり、島の良好な景観の保全に努めている。

